

令和2年4月14日

お疲れ様です。部会の皆様へ

緊急のアンケートにご協力を賜り、ありがとうございました。アンケートの集計の結果、現状の危険に対する想定に、会員ごとでかなりの開きがあることがわかりました。是非今一度、これを機会に事業所内でも話し合いをお願いできればと思います。市内の意見一般として、通所事業所の大半は、休止要請が出たときの利用者さん対応を一通り確認し進んでいるところは、利用者さん、その家族にアンケートや書面で事前告知している、一部は全くやっていないところもありました。

居宅支援事業所は、休止要請が出たときの想定が「全く考えて無い」ところと、「一人一人確認して回って、サービス事業所にも話し合っている」ところとかなりの温度差があった。

訪問事業所は、ディやショート休止時の代替サービスとして期待されているが、実際の受入れとしてはほぼ困難な状況

本日も各務原市と協議会の役員で情報交換を行いました。全ては、最悪の事態が来なければ、それでいいですが、やっぱり最大限準備しておいて、事業所にも、もちろん利用者さんその家族にも、最小限の実害になるようにすべきではないかと考えます。一度各事業所さんで、今一度話し合ってみてください。お願いします。

各務原市介護保険サービス事業者協議会

会長 稲垣 光晴

[http://kakamigahara-kaigohoken.sakuratan.com/
mitsuharu@satsuki-5.co.jp](http://kakamigahara-kaigohoken.sakuratan.com/mitsuharu@satsuki-5.co.jp)
